

まちづくりの将来像に関する市民説明会

(総合計画・新庁舎建設・支所整備・地域整備)

平成29年5月 嘉麻市

◆開催日、会場 ※開始時間は午後7時～

- ・平成29年5月16日(火) (会場：山田市民センター)
- ・平成29年5月17日(水) (会場：碓井住民センター)
- ・平成29年5月18日(木) (会場：稲築地区公民館)
- ・平成29年5月19日(金) (会場：夢サイトかほ)

【問合せ先】

総合計画関係・・・企画財政課(62-5661)

新庁舎、支所整備、地域整備関係・・・地域活性推進課(62-5677)

◆次第（※説明者は予定です。）

- 1 開会（白石副市長）
- 2 まちづくりの方向性について説明（赤間市長） 10分程度の予定
- 3 総合計画、庁舎課題等について説明（※井原教授） 30分程度の予定
- 4 質疑、意見交換 30分程度の予定
- 5 閉会

◆説明内容

- ・第2次嘉麻市総合計画に関する概要について
- ・新庁舎基本設計の協議経過及び概要について
- ・各支所整備の基本的な考え方及び機能について
- ・各庁舎周辺の地域整備に関する整備の進め方について

※井原徹教授（近畿大学 産業理工学部長 教授・博士）
嘉麻市総合計画策定審議会 会長。嘉麻市新庁舎施設整備等審議会 会長などに就任。嘉麻市のまちづくりについて指導、助言いただいている先生です。

まちづくりの方向性について

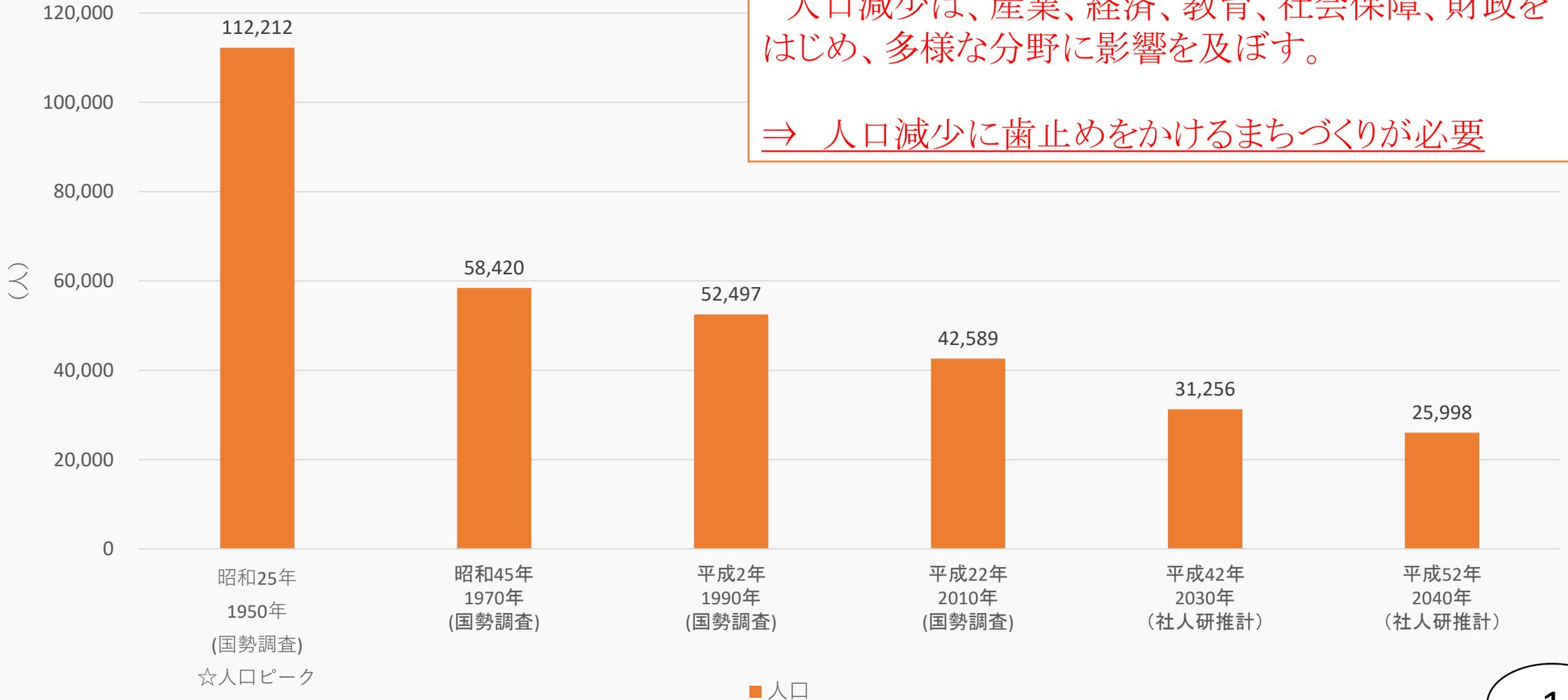
嘉麻市長 赤間幸弘

嘉麻市の課題①人口減少

【課題①】

人口減少は、産業、経済、教育、社会保障、財政をはじめ、多様な分野に影響を及ぼす。

⇒ 人口減少に歯止めをかけるまちづくりが必要



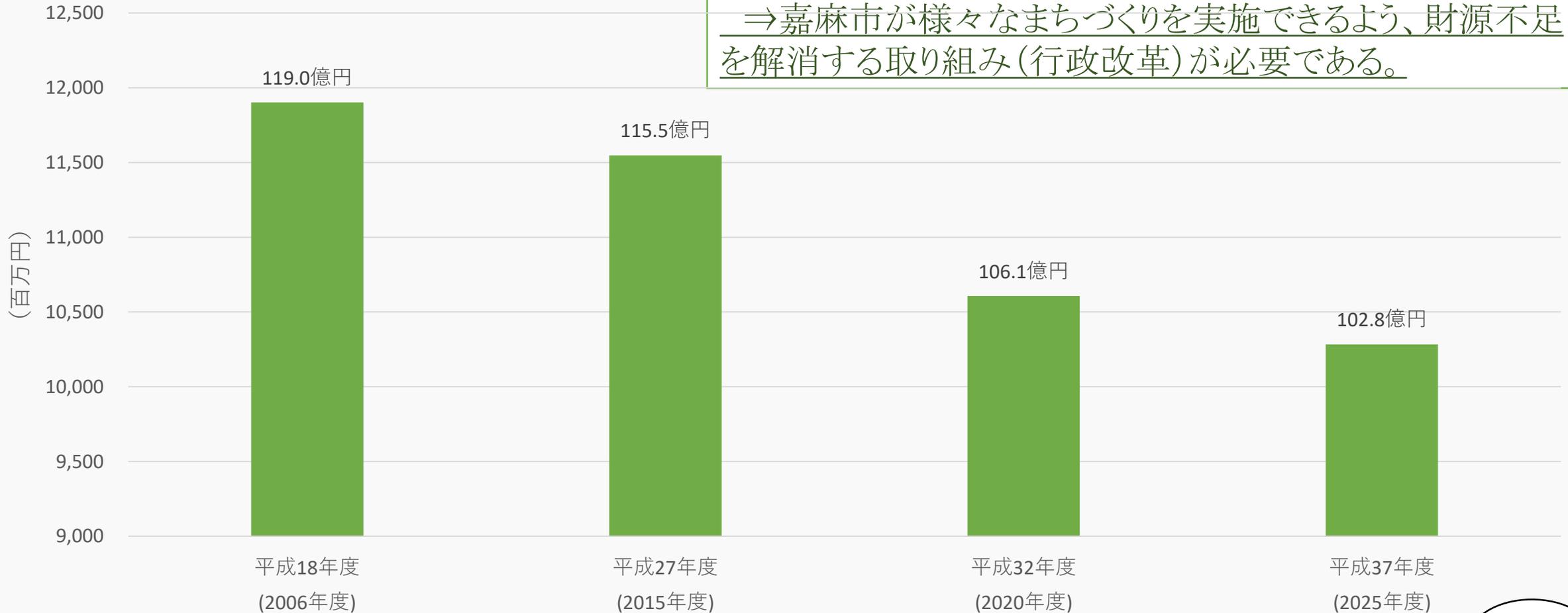
嘉麻市の課題②財源不足

【課題②】

人口減少及び平成28年度以降段階的に縮減される合併支援措置の縮小等により、本市の収入額である地方交付税の額は減少する。

⇒嘉麻市が様々なまちづくりを実施できるよう、財源不足を解消する取り組み(行政改革)が必要である。

地方交付税の推移 (見込)



■ 地方交付税 ※地方交付税額には臨時財政対策債の額を含む

嘉麻市の課題②財源不足

※行政改革と密接な関連性のある庁舎課題について

【老朽化・耐震性の問題】

- ・経年劣化が著しく、建物の大規模改修や大幅な設備更新が必要
- ・現行の耐震基準を満たしておらず、防災面や安全面での問題など

【分庁方式による問題】

- ・本庁機能の分散に伴う住民サービスの低下
- ・簡素で効率的な組織構築の阻害要因
- ・行政運営における業務効率の低下
- ・人件費や燃料費、公用車に係る余分な経費及び老朽化の進む各庁舎の維持管理費に係る経費の増加など

【行財政改革との関係】

- ・嘉麻市の将来を見据えた行政改革に関する取り組みのうち遅延している事項は庁舎問題が大きな阻害要因
- ・将来的な財政状況を鑑み、本庁機能を集約し、職員数の削減や各支所の合理化等、早急な対応が必要

嘉麻市の課題②財源不足

庁舎整備に関する唯一の財源である「合併特例債(事業費の概ね3分の2を国が支援)」が活用できる期限内に迅速に取り組み、老朽庁舎問題への総合的な対応・職員の適正化・分庁の解消・組織のスリム化を図り、「嘉麻市が将来にわたり住民サービスを維持できる基礎的な自治体としてあり続けることができる体制(施設、組織、財政等)づくり」が重要である。

◆新庁舎建設に係る関連経費及び効果額(合併特例債の償還期間として想定される20年間の各経費等の試算)

新庁舎建設に伴う本庁業務を一本化することにより、現状のまま4つの庁舎を利用する場合より、市の負担額は、次のとおり抑制される。

○庁舎整備に係る事業費 約68.2億円 抑制

○維持管理経費等 約80.3億円(毎年約4億円) 抑制

これらの課題に対応するための主な計画等

◆平成28年3月

- 嘉麻市人口ビジョン・総合戦略の策定
 - ・人口減少対策に関する取り組みの方向性、項目
- 嘉麻市新庁舎課題に関する基本計画の策定
- 嘉麻市新庁舎建設基本計画の策定
 - ・新庁舎建設に関する取り組み等に関する基本的事項
- 第3次嘉麻市行政改革大綱及び実施計画の策定
 - ・行政改革に関する基本な考え方となる大綱、実施計画

これらの計画は、

- ・総合計画策定審議会
- ・まち・ひと・しごと創生推進会議
- ・行政経営推進審議会
- ・新庁舎施設整備等審議会

などの審議会での協議をはじめ、多くの市民の皆様のご意見等を基に策定しました。

※貴重なご意見ありがとうございました。

◆平成29年3月

- 第2次嘉麻市総合計画の策定
 - ・嘉麻市の行政運営の総合的な指針となる最上位計画
- 嘉麻市新庁舎建設工事基本設計の策定
 - ・新庁舎の建設に規模や構造等に関する基本設計

具体的な対応として

課題①人口減少に対応するための主な取り組み (平成29年度予算額)

- ①観光振興加速化事業:旧足白小を観光拠点として整備(5,280万円)
- ②移住・定住起業チャレンジ支援事業補助金:地域における雇用の創出等を図る。(1,000万円)
- ③学力向上強化プロジェクト事業(3,095万円)
- ④子ども医療費対策費:中学3年生までの医療費助成(1億2,161万円)
- ⑤転入者等住まい応援交付金:転入者等の住宅新築等に関する助成、定住促進(5,500万円)
- ⑥高校等通学補助金:公共交通利用促進、高校通学等に関する負担軽減(1,405万円)
- ⑦交通体系見直し:運行計画策定、総合バスステーション設計(1,491万円)
- ⑧地域整備事業:市内各地域の均衡ある活性化に関する地域整備基本計画策定(1,919万円)
- ⑨新庁舎建設事業(1億659万円) ※平成28～31年度:継続費予算39億5,487万円
- ⑩ふるさと納税事業(1億3,277万円)

具体的な対応として

課題②財源不足に対応するための主な取り組み(行政改革)

①財政の健全化

- ・計画的な財政運営
- ・自主財源の確保
- ・歳出の削減
- ・事務事業の見直し

②簡素で効率的な組織の構築

- ・組織・機構の見直し
- ・総合支所の見直し
- ・定員管理の適正化
- ・給与の適正化

③民間活力の導入

- ・民営化・民間委託の推進
- ・公共施設の見直し

④人材の育成

- ・人事評価制度の導入等

⑤市民との協働

- ・市民参画の推進
- ・地域協働の推進

まちづくりの方向性について

去年は、嘉麻市合併10周年。

平成29年度から、第2次総合計画に基づき、豊かな自然や伝統、歴史、文化を次の世代に引き継ぎながら、嘉麻市に「いきたい、住みたい」と思われ、「帰ってきたい」と思える、思わせるような、魅力あるまちづくりが望まれる。

【まちづくりの方向性】

まちづくりにおける最大課題である人口減少対応として

- ①定住促進
- ②人口規模に見合った効率的な行財政運営

総合計画、庁舎課題等について

嘉麻市総合計画策定審議会 会長

嘉麻市新庁舎施設整備等審議会 会長

近畿大学 産業理工学部 学部長

教授・博士

井原 徹

1 自己紹介等

◆自己紹介

- ・井原徹（いはら とおる）
- ・近畿大学 産業理工学部長 教授・博士（学術） 建築・デザイン学科
- ・1級建築士
- ・専門分野：地域施設計画、建築計画、地域計画

◆嘉麻市の審議会などへの参加

- ・嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会 専門委員
（平成19年10月～平成25年9月、計54回）
- ・嘉麻市新庁舎施設整備等審議会 会長
（平成27年8月～平成29年2月、計19回）※継続中
- ・嘉麻市まち・ひと・しごと創生推進会議 会長
（平成27年9月～平成28年6月、計5回）※継続中
- ・嘉麻市総合計画策定審議会 会長
（平成28年8月～平成29年1月、計5回）

2 説明の全体構成



↑ 新庁舎建設等に関する取り組み状況
新庁舎の基本設計具体的な内容、支所整備等を含めた今後の地域整備の内容等

↑ 第2次嘉麻市総合計画
平成29年度から向こう10年間の行政運営の要となる総合的な指針となる最上位計画